

科目名		設計製図B			
担当教員		三留 正		実務授業の有無	有
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、学ぶ。 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、RC造の製図、炉計図課題を作成し、評価、解説を行う			
学習目標 (到達目標)		建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、実習を通じて習得する。鉄筋コンクリート構造、RC造構造、設計条件を理解する。また、建築士2級の技術試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①初学者の建築講座 建築製図 (市ヶ谷出版)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	鉄筋コンクリート構造の製図 ①平面図、断面図、立面図、矩計図の作図方法			方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習	
2	特殊建築物 (RC造) の設計 ①エスキース、平面図、断面図、立面図作成			方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題評価	取組姿勢			建築製図の基礎を、作図演習を通じて習得します。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけましょう。またプロセスをチェックすることで習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、清楚の低い課題については、十分な解説を行う。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計業務、施工管理業務に22年実務に携わる			